

平成 31 年 2 月 22 日

生徒の皆さん
保護者の皆さま

大阪府立かわち野高等学校
校長 幸川 由美子

麻疹（はしか）患者数の増加にかかる注意喚起について（お願い）

現在、大阪府における麻疹（はしか）患者の報告数が増加しています。
大阪府感染症情報センターによると、2019 年に入り大阪府の麻疹（はしか）患者が急増しており、2 月 17 日時点での報告数は大阪府内で 81 人でした。2018 年の麻疹（はしか）の累積報告数は大阪府内で 19 人（全国 282 人）でしたので、すでに 4.2 倍近くの報告数となっています。東大阪保健所管内では 3 人の患者が報告されていますが、これから増えることが予想されます。

[麻疹（はしか）について]

- ・麻疹の感染力は強く、患者のせきやくしゃみを直接あびた場合だけでなく、空気中を漂うウィルス粒子を吸い込むだけでも感染することがある
- ・潜伏期間はおよそ 10～12 日間
- ・潜伏期の後 38℃台の発熱、せき、のどの痛み、鼻水、めやに、目が赤くなる、身体がだるいといった症状がではじめ、症状は 4 日から 5 日続く（カタル期）
- ・カタル期は（風邪症状によく似ているため）風邪と間違えられやすい
- ・麻疹（はしか）感染期間は、発熱出現前日から解熱後 3 日を経過するまで
そのため、知らないうちに多くの人に麻疹（はしか）をうつしてしまう事もある
- ・カタル期の感染力が最も強いと考えられているので、麻疹（はしか）の疑いがある場合には、早期に対処することが重要

参考資料

- ※ 大阪府ホームページ「麻しん（はしか）について」
- ※ 大阪府感染症情報センターホームページ「麻しん・風しん情報」
- ※ 「学校における麻しん対策ガイドライン 第二版」（国立感染症研究所感染症疫学センター 平成 30 年 2 月作成より）

現在、本校の関係者に麻疹（はしか）患者はおりませんが、不調を感じた場合には、速やかに受診することをおすすめします。

また「麻疹（はしか）」の疑いがある場合は、受診前に医療機関に連絡を入れ、受診の方法について確認してから病院へ行くようにしてください。

なお、万が一麻疹（はしか）にかかった、あるいは疑わしいと診断された場合は、すぐに学校にお知らせいただきますよう、よろしくお願ひします。

（大阪府立かわち野高校 TEL 072-963-7002）